

当初・変更

工事執行機関 41371 富岡土木事務所

入 札（ 見 積 ） 執 行 調 書
入 札（ 契 約 ） 結 果 書

年災		事項				契約	令和7年5月28日
工事番号	24-41371-0109	工 事 名	河川（補助）工事（樋門補修）			着工	令和7年5月28日
入札執行年月日	令和7年5月14日	発注種別	01 一般土木工事			完成	令和8年3月27日
審 議 番 号	公所	000000	本庁				
路線・河川名	熊川筋外				予定価格	65,494,000	
工事箇所 自	双葉郡大熊町大字熊地内外				最低制限価格		
至	鍛冶屋川原樋門外				調査基準価格	60,254,480	
工 事 概 要	樋門補修N＝3基				(予定価格に占める 法定福利費概算額)	2,078,300	

業 者 コ ー ド 業 者 名	落 札 者 の 住 所		
	入 札 額 及 び 再 入 札 額		落札額（契約額）
100002584 田中建設（株）	双葉郡双葉町大字長塚字町4 8		
	(1) 58,000,000 (3)	(2) (4)	63,800,000
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

様式第2号(第8条関係)

總合評價方式評價結果

工事種別			一般土木工事			工事執行権者			富岡土木事務所長			
工事番号	24413710109	工事名	河川(補助)工事(樋門補修)		予定価格(円)	304日間	開札予定日			令和7年5月14日		
路線/河川名	熊川筋外	工事箇所	双葉郡大熊町大字熊地内外 鍛冶屋川原樋門外		工事の概要		技術審査日			令和7年5月14日		
地域要件	隣接(管内)	入札参加者の所在地等(消防団以外)の評面対象地域			相双建設事務所管内			消防団への継続加入状況の評面対象地域			相双建設事務所管内	

[illegible]

※技術提案の採否は、採の場合には「○」、否の場合には「×」と表記すること。

※技術提案の採否が否の場合には、「加算点(b)」の欄には／(斜線)を記入すること。

※契約締結後の公表時には予定価格を記入して公表すること。

※「技術者確保数」と「技能士」、「資格保有年数」と「継続教育」、「災害出動実績」と「災害協定締結」は、重複して加算しないこと。先に記載の項目の得点がない場合、後の項目が評価対象となる。

※本様式における入札参加者とは、技術提案書等を提出した者としてします。

※本様式における入札参加者とは、技術提案書等を提出した者としてします。

※落札者以外の加算点は、技術提案書の記載内容のみによる評価であり、資料等により確認したものではない。

※無効の場合は、各点数欄を空白とし、加算点合計((a)+(b))欄に「無効」と記載する。

※地域密着型の場合、ボランティア活動及び選択項目については、工事箇所と同一の土木事務所管内の本店及び準本店のみ評価対象。

※本様式における入札参加者とは、技術提案書等を提出した者としてします。

総合評価方式入札結果

工事種別		一般土木工事		工事執行権者		富岡土木事務所長	
工事番号	24413710109	工事名	河川(補助)工事(樋門補修)	予定価格(円)	65,494,000	工 期	304日間
路線河川名	熊川筋外	工事箇所	双葉郡大熊町大字熊地内外 鯉治屋川原樋門外	工事の概要	樋門補修N＝3基	開札予定日	令和7年5月14日
						技術審査日	令和7年5月14日

学識経験者の職・氏名		落札者決定基準		落札者の決定		
職業等	氏名	意見の適否	意見聴取月日	落札者決定の際の意見聴取	意見の適否	意見聴取月日
令和6年度第7回総合評価委員会議		適	令和7年1月15日	不要		令和 年 月 日
			令和 年 月 日			令和 年 月 日

入札参加者	入札参加者の所在地 (契約する本店・支店・営業所)	標準点	加算点	標準点 ＋加算点 (A)	入札額 (円：税抜き) (B)	評価値算出価格 (円：税抜き) (C)	評価値 (A／C) × 10,000,000	順位	低価格入 札の該当	備 考
田中建設(株)	双葉郡双葉町	100	7.0	107.0	58,000,000	58,000,000	18.4482	1	-	落札者
入札参加者1者										

※評価値は少数第5位を切り捨て、少数第4位まで表記する。ただし、表記の値では順位が分らない場合は、順位が分かる桁数で表記する。開札時点で有効の入札参加者は全て順位を記載すること。

※契約締結後の公表時には予定価格を記載して公表すること。また、備考欄には、「落札者」「無効(理由も記載すること)」「失格(理由も記載すること)」等を記載すること。

※低価格入札の該当欄には、調査基準価格を下回った入札の場合「低価格入札」、調査基準価格を下回らなかった入札の場合「―」を記載すること。

※本様式における入札参加者とは、技術提案書を提出した者となります。

